本校はもともと速記の普及を目的に設立されましたが、 高度経済成長を背景に、1972年に日本初の医療秘書科を開設し、

医療秘書の伝統校として病院から高い評価を得ています。

1997年には介護福祉科を開設し、福祉分野の教育もスタートしました。

2015年より河北医療財団から事業継承するかたちで看護科を開設し、看護教育にも取り組み始めました。

医療と福祉2つのカテゴリーで「専門事務職」と「専門技術職」 それぞれのスペシャリストを養成しています。

## 建学の精神

「不偏不羈(ふへんふき)」の精神を教育の現場で実践。

本学園の創立者故川口渉先生が、建学の精神として私たちに残されたのが「不偏不羈(ふへんふき)」という言葉です。その言葉は、「かたよらず、とらわれず」、現代的にいうと「調和と自立」です。高度な専門性をもって自立しつつも周囲と調和し、幅広い視野をめざすことでバランスのとれた人間像を目標とします。この姿勢が本校の理想とする教育理念です。

## 教育目標

4つの能力の養成でバランス感覚に富んだ人材を育成。

本校では、4つの能力の養成をめざします。仕事を進める上で必要な「専門実務能力」、問題意識を持って積極的に改善していこうとする「問題解決能力」、情報の収集・分析のための「情報管理能力」、そしてこれらの能力を支え、周囲との円滑な協働を可能にする「対人関係能力」です。本校では各分野のスペシャリストをめざして、専門知識・技能を養い、バランス感覚に富んだ人の育成を目標にしています。

専門実務能力

問題解決能力

情報管理能力

対人関係能力